

情報公開文書

研究の名称	悪液質に対するアナモレリン有効性/不応性関連因子の検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院腫瘍内科・緩和ケア内科 講師 梶浦新也
研究の概要	<p>【研究対象者】 当院にて手術困難な大腸癌・膵臓癌・胃癌・非小細胞肺癌で2021年4月21日から2025年9月30日までに食欲不振・体重減少に対し、アナモレリン（商品名：エドルミズ）による治療をされた方</p> <p>【研究の目的・意義】 がん悪液質は、膵臓癌の88.9%、胃癌の76.5%に認めるなど高い有病率にもかかわらず、有効な直接的治療薬がありませんでした。2021年4月21日に本邦初のがん悪液質に対する直接的治療薬であるアナモレリンが発売され、同薬は大腸癌・膵臓癌・胃癌・非小細胞肺癌のがん悪液質を対象とした臨床試験は行われていますが、市販後調査でも有効性/不応性の臨床的関連因子については明らかになっていません。本研究では、アナモレリンを処方された方を抽出し、食欲・体重改善効果を認める有効例と不応例に分け、有効性に関連する因子について後ろ向き観察研究にて検討し、検討結果からアナモレリンの開始導入基準について、明らかにすることを目的とします。それらの各種情報から得られる効果と有害事象に影響を与える因子を広く探索的に検討します。</p> <p>【研究の方法】 当院にてアナモレリンによる治療された方について、カルテ情報を元に処方状況を調査します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日から2026年9月30日まで</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究成果は学会発表や学術雑誌で発表いたします。</p> <p>【利益相反の状況の項目】 公開すべき利益相反はありません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>研究に用いる試料はありません。情報の項目としては、年齢、性別、身長、体重、診療科、薬剤開始時期、薬剤開始時の外来/入院の区分、原疾患(原疾患のがん・非がん)、原疾患の状況、アナモレリン処方量、処方理由、処方開始日、処方中止日、処方中止理由、処方提案者、薬剤の効果の有無、積極的抗がん剤治療の有無、積極的抗がん剤治療の状況、併用薬（とくに併用オピオイド薬、併用漢方薬）、手術の既往（とくに胃の手術）、合併症、栄養指導介入の有無、PS、食事量、投与中の血算・生化学検査、死亡日、有害事象（アナモレリンおよび抗がん剤治療による）、IPOS（Integrated Palliative care Outcome Scale; ホスピス・緩和ケアにおける評価尺度）などの発現状況です。カルテの情報から抽出します。主な評価項目として、アナモレリンの効果を改善あり群・改善なし群での臨床的関連因子の評価とします。（処方後3週間後を目安とした食欲または体重の改善ありおよび維持を改善あり群、改善なしを改善なし群とします。）抽出情報の項目と背景因子との関連を統計学的に解析します。他機関への提供はありません。</p> <p>本研究で得られた研究対象者の情報等は、現時点では特定されない将来の研究のために用いる可能性があります。その場合には、改めて研究計画書を作</p>

	成又は変更し、必要に応じて審査委員会の承認および、研究機関の長の許可を得ることになっています。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院腫瘍内科・緩和ケア科 講師 梶浦新也
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7114 FAX 076-434-5113 E-mail ayoshida@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院栄養部栄養管理室 管理栄養士 吉田 明浩